

発行：東京都港区虎ノ門  
2-10-1 虎ノ門ツインビルデ  
ィング西棟4階  
富士通虎ノ門オフィス内  
Mail: icscp@nifty.jp Ver.2  
2014年10月31日(金)No.019

**ICSGP 産応協ニュース** <第19号>  
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)  
Industry Committee for Super-Computing Promotion

## ビジョン策定/ロードマップ整備WG開催報告(9/25,10/8)

本年度9月に開催したオータムスクール14では、企画委員と実行委員の合宿討議を通じて、産応協の設立当初からの「活動の想い」を含めて、新旧委員間の情報共有と取り巻く新しい環境等を整理するとともに、とりまとめた「産応協ビジョン」の提案をWGで再度見直しを行い、企画委員会に報告することとした。

## 第12回企画委員会開催(10/21)

### [報告事項]

- ・タスクフォース活動報告  
「京」及びポスト「京」に対する産業界からの意見/提言の提出先の確認と内容並びに行動実施時期の確認を行った。
- ・実行委員会から活動の進捗報告
  - ①第30回スパコンセミナー(本年度第二回10/22開催)
  - ②第2回オータムスクール(9月19日,20日一泊二日実施)
  - ③海外におけるスパコン産業利活用実態調査(第一ステップの実施)
  - ④アンケート調査の実施(利活用普及への課題)
- ・産業基盤シミュレーションソフトの調査プロジェクト立上げ準備状況  
準備状況について報告があり、関係機関との連携等の確認をした。また、文部科学省の課題公募は10月末が締切、11月には審査・ヒアリングが行われ、決定される日程の予定。12月の運営委員会には、さらに進展した内容報告を準備することとした。

### [審議事項]

- ・第7回シンポジウムについて  
会場はイイノコンファレンスセンター(会場予約の確認)  
テーマは、「コンピューティング技術による産業イノベーション」  
基調講演は講師選定中。  
パネルディスカッションは、大枠が決定。
- ・第2回総会(第15回運営委員会)の議事次第  
第2号議案 2014年度活動状況と2015年度活動方針については、
  - ・2014年度活動状況⇒実行委員会で整理
  - ・2015年度活動方針⇒企画委員会でまとめる。
- ・中小企業ものづくりシミュレーション技術交流会の開催
- ・産応協のビジョン策定およびロードマップ整備について  
9月実施したオータムスクールにおいて討議された産応協のビジョン(案)の結果について、さらにビジョン策定・ロードマップ整備WGで見直し進め、その提案を企画委員会で精査し、次のようにした。

## 産応協のビジョン(第12回企画委員会10/21確認)

### <理念>

「スーパーコンピューティングを通じて豊かな社会を実現する」

### <目指す姿>

- ・あらゆる産業分野でのシミュレーション技術が企業価値向上に貢献している姿
- ・幅広いユーザのコミュニティが形成され、産業界を牽引している姿
- ・恒常的にコンピューティング技術活用を担う人材が育成されている姿
- ・産業界に適したさまざまなコンピューティング環境が実現されている姿

## 第30回スパコンセミナー開催報告 (10/22)

本年度第2回(通算30回)スパコンセミナーは、平成26年10月22日(水)午後1時から5時まで機械振興会館6階D1号室で行った。

今回のセミナーでは、我々の生活を支える「光材料」に関わる計算機活用をテーマに絞り込んで、産業上の重要性は言うまでもなく、その特性向上にはマイクロからマクロまで様々な現象の理解が必要となり、計算科学や計算工学を駆使したシミュレーション技術が果たすべき役割も広範囲に及んでいる。

また、マイクロな基礎理論からデバイス応用を睨んだ研究にわたる広い分野について、理論・実験両分野の第一線でご研究されているアカデミアの先生方及び産業界の方々を講師にお招きして、ご講演頂くとともに積極的な討論が行いました。当日参加者は、27名。

[プログラム]

- 13:00~13:05 開会ご挨拶
- 13:05~13:10 セミナー概要に関する挨拶
- 13:10~14:00 「光近接場の理論と機能性ナノデバイスの計算科学的設計への展開」  
自然科学研究機構 分子科学研究所  
理論・計算分子科学研究領域 准教授 信定克幸
- 14:00~14:50 「量子化学計算によるEu<sup>2+</sup>系蛍光体の解析」  
株式会社東芝 研究開発センター  
有機材料ラボラトリー 主任研究員 相賀史彦
- 14:50~15:10 休憩
- 15:10~16:00 「半導体ポリマーの配列制御と有機デバイス特性」  
独立行政法人理化学研究所  
創発物性科学研究センター 上級研究員 尾坂 格
- 16:00~16:50 「有機発光材料の開発と実用化に向けての取り組み」  
ユニカミノルタ株式会社  
アドバンストレイヤーカンパニー  
有機材料研究所 所長 北 弘志
- 16:50~17:00 閉会の挨拶



## 第1回タスクフォース開催報告 (10/27)

HPCI コンソーシアムにおける産業界からの意見/要望/提案の検討を進めた。

- ・産業応用 SubWG の活動状況と産業界からのニーズ提案等
- ・今後の HPCI コンソーシアムに対して「産業界が求める第二階層について」提言
- ・包括的な提言についても対応

関連する省庁の壁を超えた HPCI 全体をマネジメントする機関のせっちを期待

## 第2回シンポジウム準備委員会開催報告(10/27)

開催に向けて、次の内容を確認した。また、講師の決定並びにパネルディスカッションの進め方などについては、講師にあらかじめ、今回の趣旨を明示して相互の協調をお願いすることとした。

- ・会場:イイノカンファレンスセンター RoomA, ToomB, RoomC
- ・企画案・タイムスケジュール  
平成26年12月10日(水)午後1時から午後5時30分
- ・基調講演講師について
- ・特別講演講師、パネルディスカッション講師について  
モデレータは、一般社団法人HPCIコンソーシアム理事 笠 俊司氏に依頼
- ・開催案内のチラシ、ポスターについて
- ・参加登録用Webについて  
(昨年度作成したものをバージョンアップし、参加登録ができるようにした。)
- ・後援・協賛について
- ・パネルディスカッションの進め方について

### 中小企業による利用展開へのアプローチ

昨年度実施した海外調査では、米国における中小企業等に手厚い対応が見受けられる結果があったという報告があり、これらに対する我が国の現状把握並びに啓発を行うため、長野県工業技術総合センターの協力、支援によって、「中小企業シミュレーション技術交流会」を開催することとした。

本交流会では、今回、長野県内中小企業振興施策の一環として、産応協との活動連携を行い、従来のCAEから大規模なスパコン活用まで、幅広いシミュレーションによるものづくりのあり方を模倣して、今後の地域におけるシミュレーション活用について議論する場にする事とした。

テーマ:ものづくりの探求とスーパーコンピューティング利活用の魅力

開催日時:平成26年11月19日(水)午後1時から午後5時

開催場所:長野県工業技術総合センター4階大会議室

主催:スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

長野県工業技術総合センター

協賛:(公財)計算科学技術振興財団

(公財)長野県テクノ財団

(公財)長野県中小企業振興センター

参加:無料 50名

### 今後の予定

11/6 第12回実行委員会開催

11/19 中小企業シミュレーション技術交流会(長野市)の開催

11/25 海外事例調査WGの開催

#### [産応協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com